

# 『ひがしくさんぽ』

『『認とも』ってなに??』

高齢者の4人に1人は認知症の人またはその予備軍とも言われる中、社会全体で認知症を含めサポートが必要な人やその家族を支える基盤づくりが必要です。

東区福祉課では、認知症になっても安心して暮らせるまちの実現を目指して「認知症サポートリーダー（認とも）」というボランティアの養成を行っています。この講座は認知症サポーター養成講座を終了した後のステップアップ講座として、認知症の方や介護者の気持ち、認知症に寄り添うケアや地域づくりなどを学べる内容で実施しています。

『認とも』の『とも』には、「友達」「共に生きる」「伴走者」という意味を込めています。認知症の方や家族に寄り添う伴走者として、地域で活躍する人材の育成を目指しています。これまで第3期生まで養成しており、講座のサポートや、認知症声かけ訓練など地域活動への参加、認とも同士の交流会などで活動中です。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動が制限されていますが、認知症カフェや介護施設でのボランティア、地域での声かけや見守り、ちょっとしたサポートを必要としている方への支援などもできたらいいなと考えています。

今年度の第4期養成講座はオンラインで実施中です。第2回まで終了していますが、ご興味のある方はお問い合わせください。

東区全体に「認ともさん」が増え、「人生の最期まで住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし『おたがいさま』の心で支え合える東区」になりますように…！



認とも  
(友・共・伴)



活動用オレンジベスト・トートバック



認とも通信



第3期生



(東区役所福祉課 ☎367-9127)